

第35期9月期 決算説明会資料

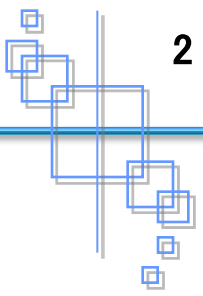
(自2011年10月1日～至2012年9月30日)



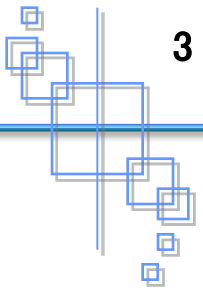
2012年11月29日開催

株式会社インフォメーションクリエイティブ

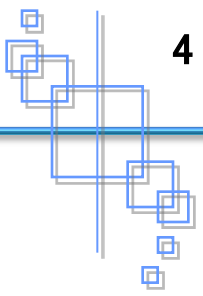
(証券コード:4769)



I	会社概要	P 3 ~ P 5
II	事業の概要	P 6 ~ P 11
III	2012年9月期 決算内容	P 12 ~ P 21
IV	3カ年の中期経営計画 及び2013年9月期業績見通し	P 22 ~ P 29



I 会社概要



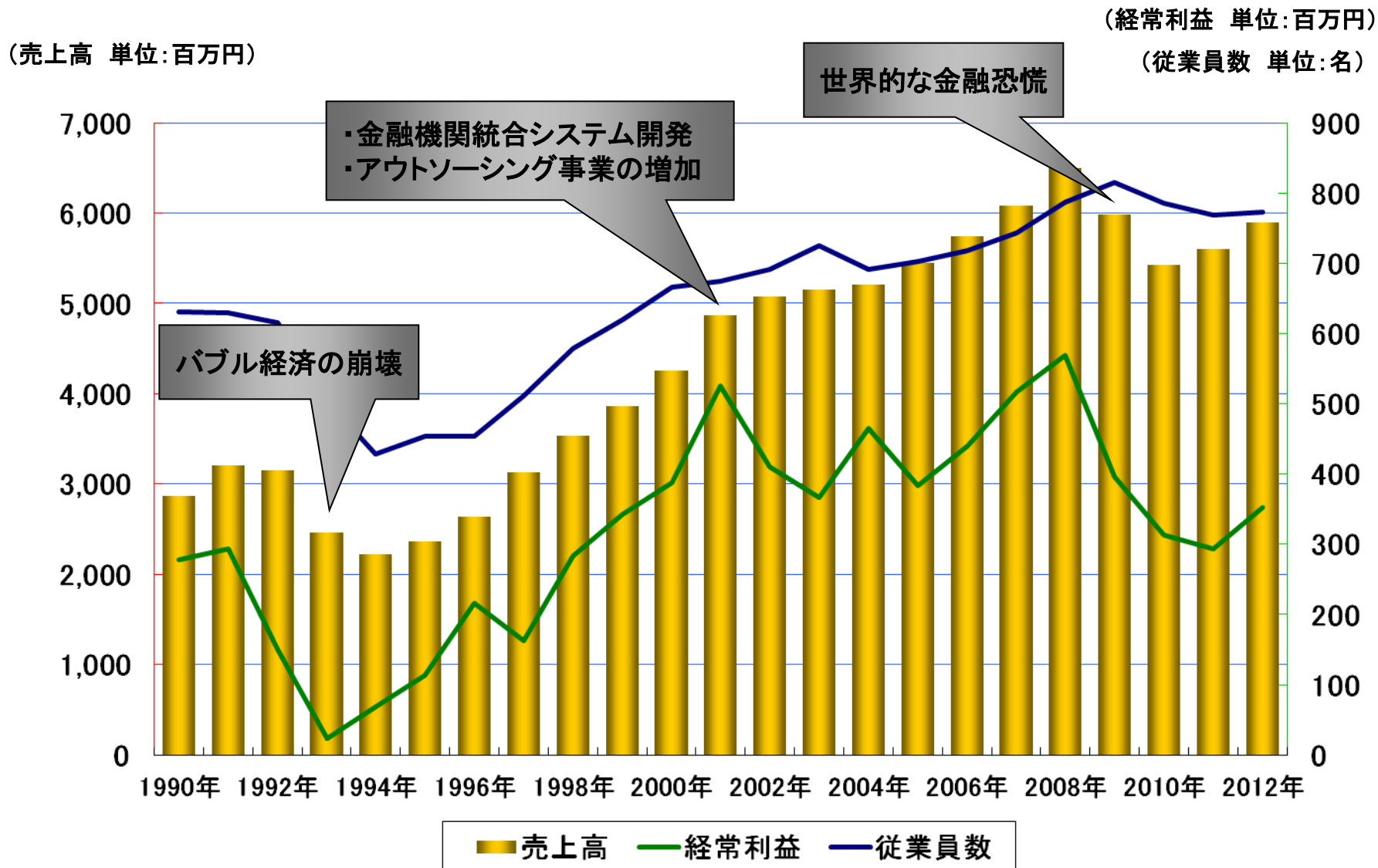
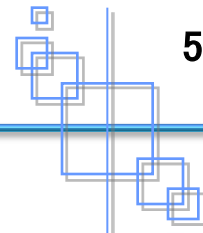
設立 : 1978年2月20日
資本金 : 4億7百万円(2012年9月末現在)
発行済株式総数 : 3,866千株(2012年9月末現在)
決算期 : 9月
代表者 : 山田 亨
従業員数 : 773名(2012年9月末現在) 平均年齢 32.8歳
業種 : 情報サービス業

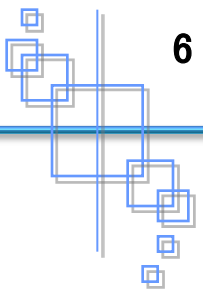
- ①ソフトウェアソリューション
- ②運用サービスソリューション
- ③クラウドソリューション

JASDAQ 上場 : 2000年7月13日
株式売買単位 : 100株単位
証券コード : 4769(情報・通信業)

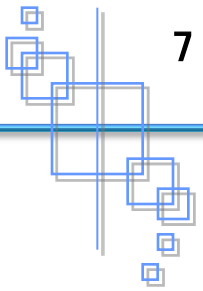


業績・従業員の数推移





Ⅱ 事業の概要



各領域の技術・ノウハウを
他の領域に活用



従来のプラットフォームを再構築して
次代のインフラ「クラウドコンピューティング」
に対応したトータルソリューションを提供

ソフトウェアソリューション

主にビジネス向け業務システム設計から開発及びシステムのメンテナンス、また、組込みソフトやハード設計分野も対応

運用サービスソリューション

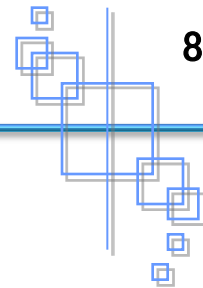
マシンオペレーション、運用管理からセキュリティ管理等、コンピュータの運用に関するサービス及びインフラ構築にも対応

クラウドソリューション

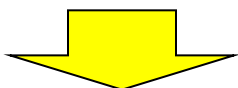
自社製品ASPサービスをはじめ、Webアプリケーションサービス、プライベートクラウド構築、リモート監視・運用、ハウジングサービスなど

多種多様なニーズに対応した
高品質、広範な技術・サービスを提供



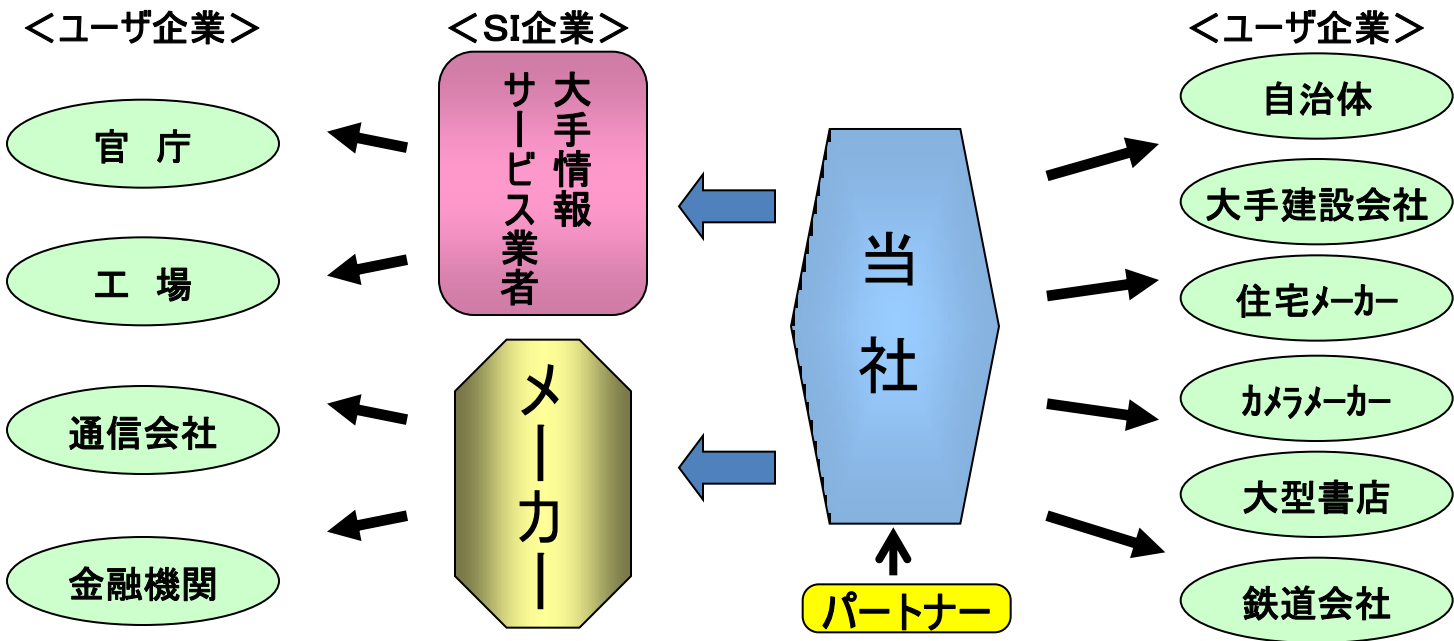


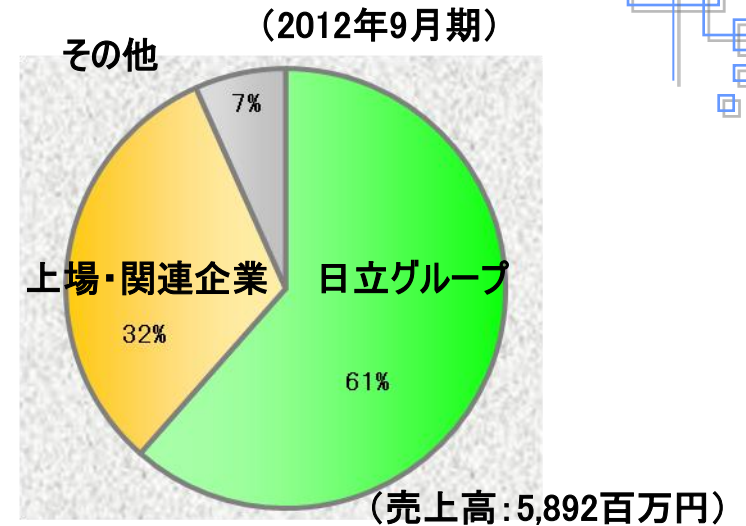
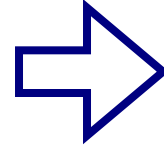
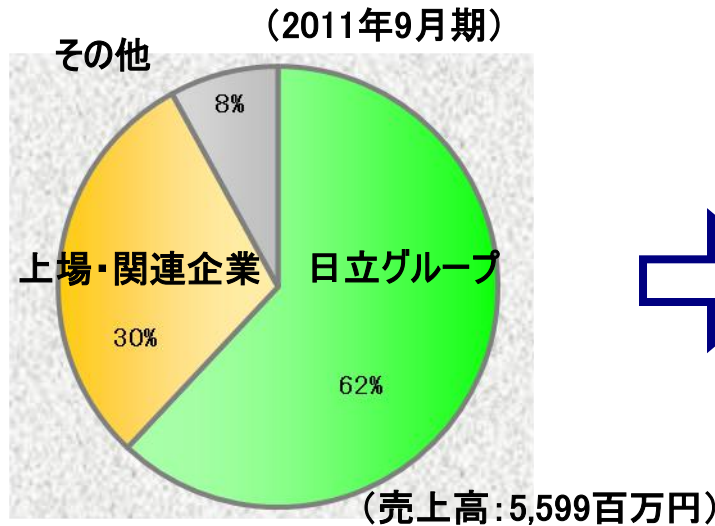
顧客密着型（8割のSEが顧客先に常駐）



顧客との信頼関係が高まり、長期取引を実現
顧客先常駐SEを通じて新規案件を優位に受注

Face to Face





主な取引先(売上高上位10社)

- ・ 日立情報システムズ(※1)
- ・ 日立情報通信エンジニアリング
- ・ 日立ソリューションズ
- ・ 日立建機ビジネスフロンティア(※2)
- ・ 日立アドバンストシステムズ
- ・ ジェイアール東日本情報システム
- ・ 日立製作所
- ・ 住商情報システム(※3)
- ・ ニコンシステム
- ・ 日立システムバリュー

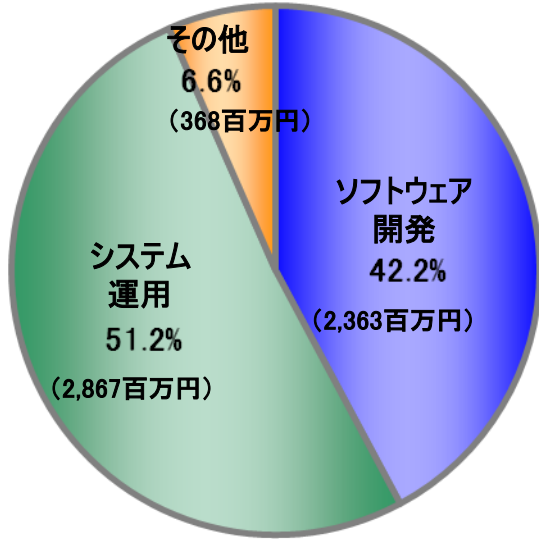
主な取引先(売上高上位10社)

- ・ 日立システムズ(※1)
- ・ 日立ソリューションズ
- ・ 日立情報通信エンジニアリング
- ・ 日立アドバンストシステムズ
- ・ 日立建機(※2)
- ・ SCSK(※3)
- ・ LIXILインフォメーションシステムズ
- ・ ジェイアール東日本情報システム
- ・ ニコンシステム
- ・ 日立製作所

(※1) 日立情報システムズは2011年10月に統合合併し、日立システムズと社名が変更されました
 (※2) 日立建機ビジネスフロンティアは2012年4月に日立建機と社名が変更されました
 (※3) 住商情報システムは2011年10月に統合合併し、SCSKと社名が変更されました

安定した取引基盤

(2011年月9期)



(売上高: 5,599百万円)

主な取引先(売上高上位5社)

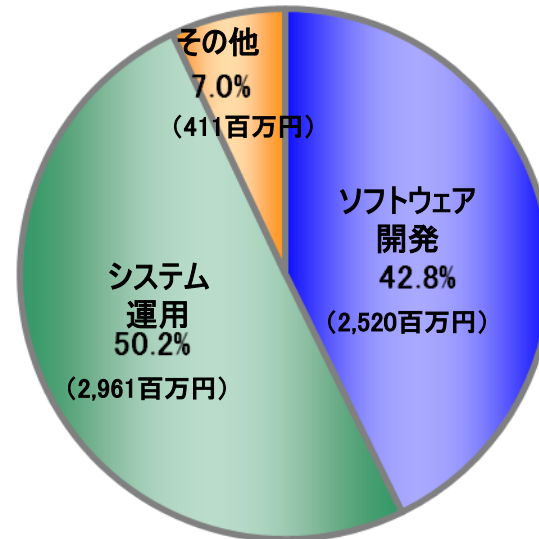
ソフトウェア開発

- ・日立情報システムズ
- ・日立アドバンストシステムズ
- ・日立情報通信エンジニアリング
- ・住商情報システム
- ・日立システムバリュー(※1)

システム運用

- ・日立情報システムズ
- ・日立ソリューションズ
- ・日立建機ビジネスフロンティア
- ・日立システムバリュー(※1)
- ・中央コンピュータシステム

(2012年9月期)



(売上高: 5,892百万円)

主な取引先(売上高上位5社)

ソフトウェア開発

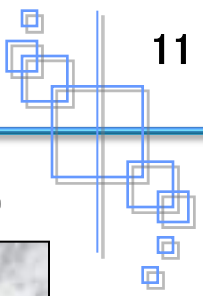
- ・日立システムズ
- ・日立アドバンストシステムズ
- ・LIXILインフォメーションシステムズ
- ・日立ソリューションズ
- ・SCSK

システム運用

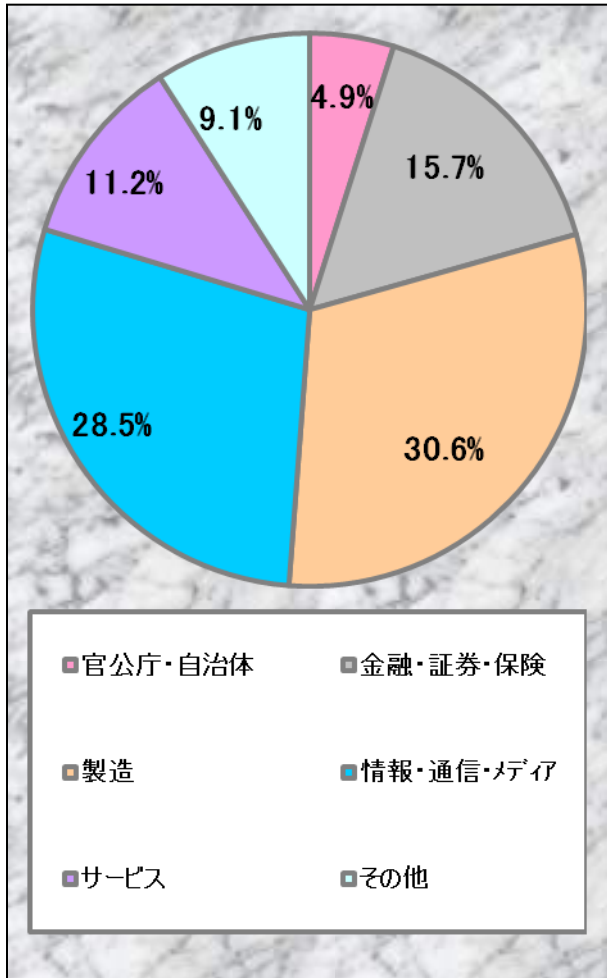
- ・日立システムズ
- ・日立ソリューションズ
- ・日立建機
- ・富士ゼロックスサービスクリエイティブ
- ・日立ソリューションズバリュー(※1)

(※1) 日立システムバリューは2011年10月に統合合併し、日立ソリューションバリューと社名が変わりました

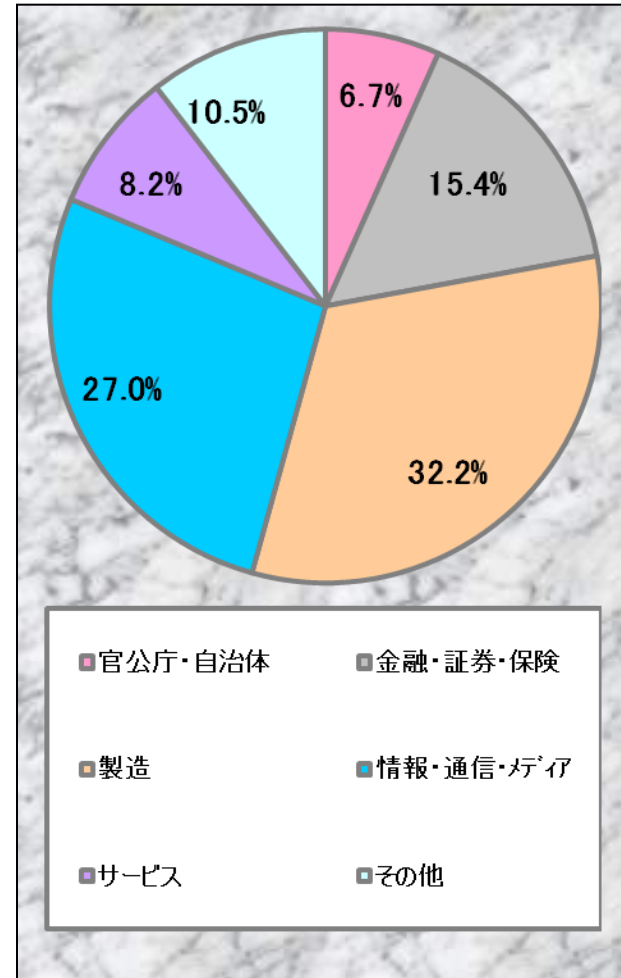
バランスの良い事業構成



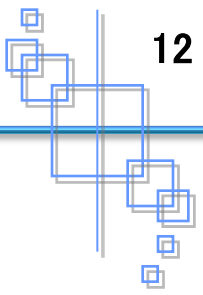
(2011年9月期 売上高:5,599百万円)



(2012年9月期 売上高:5,892百万円)

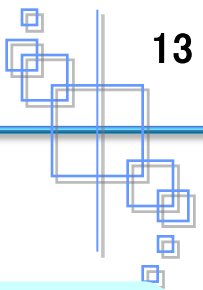


多岐にわたる業種



Ⅲ 2012年9月期決算内容

(自2011年10月1日 ~ 至2012年9月30日)



① 業界環境

情報サービス業界においては、需要が僅かながら回復してきているものの、顧客企業の情報化投資に対する慎重姿勢は変わらず、企業間競争の激化から受注単価の引き下げなど厳しい現状が続いております。

② 売上高及び経常利益

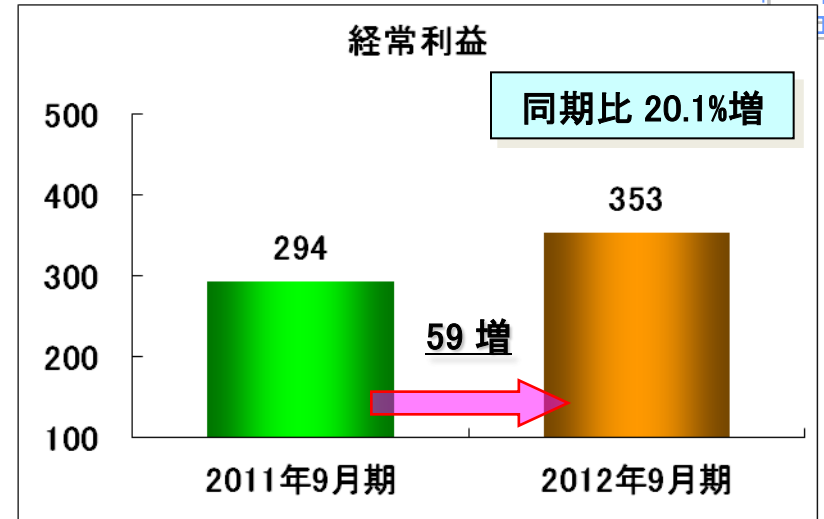
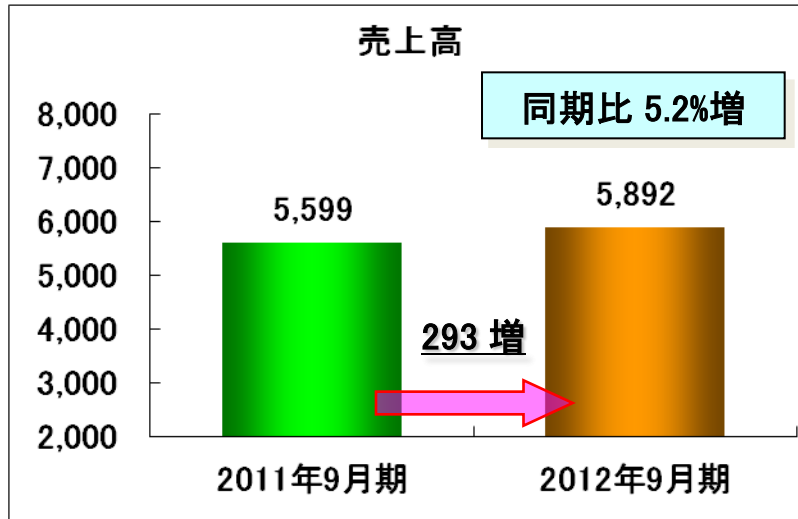
売上高	5,892百万円	(前年同期比 5.2%増)
経常利益	353百万円	(前年同期比 20.1%増)

③ 事業部門別売上高

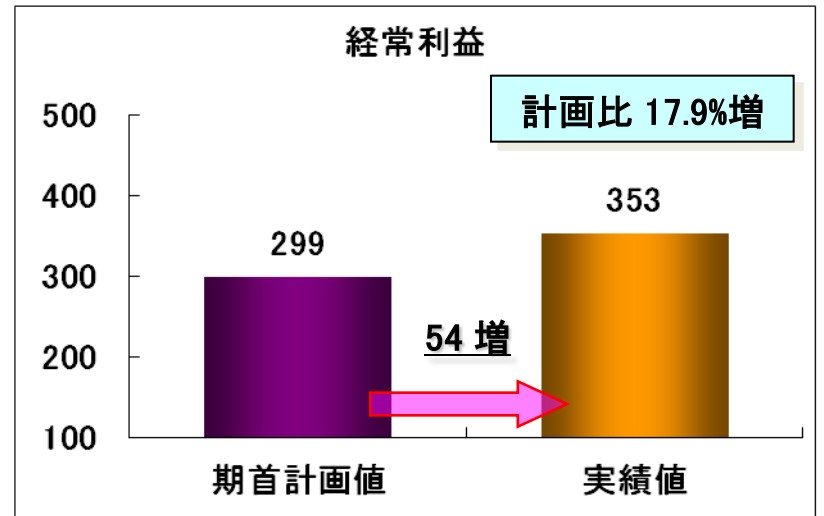
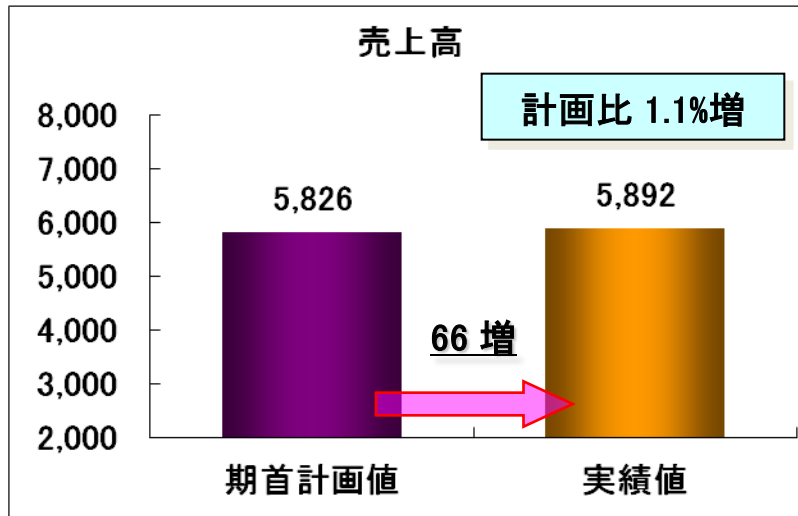
ソフトウェア開発	2,520百万円	(前年同期比 6.6%増)
システム運用	2,961百万円	(前年同期比 3.3%増)
その他	411百万円	(前年同期比 11.5%増)

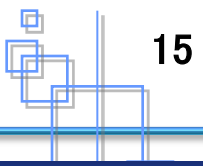


前年同期との比較(単位:百万円)

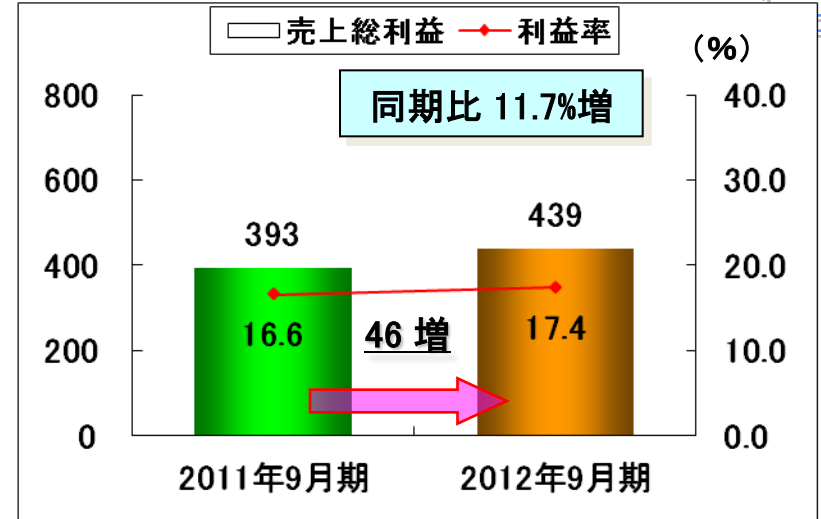
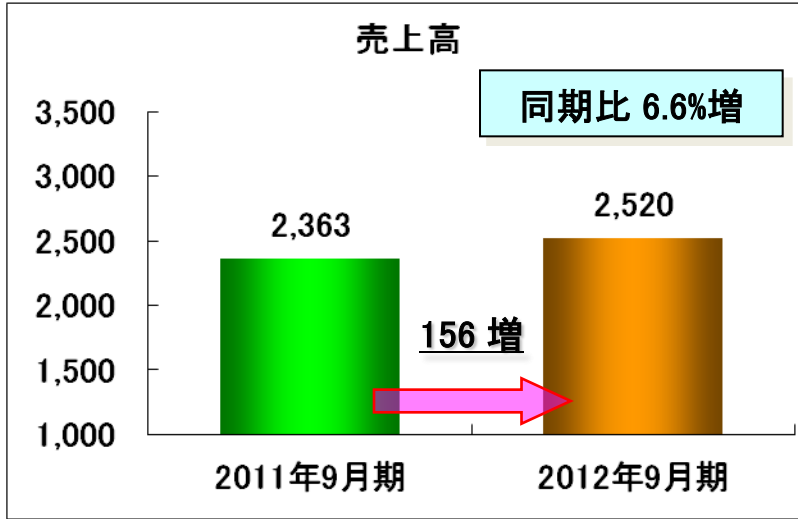


期首計画値との比較(単位:百万円)

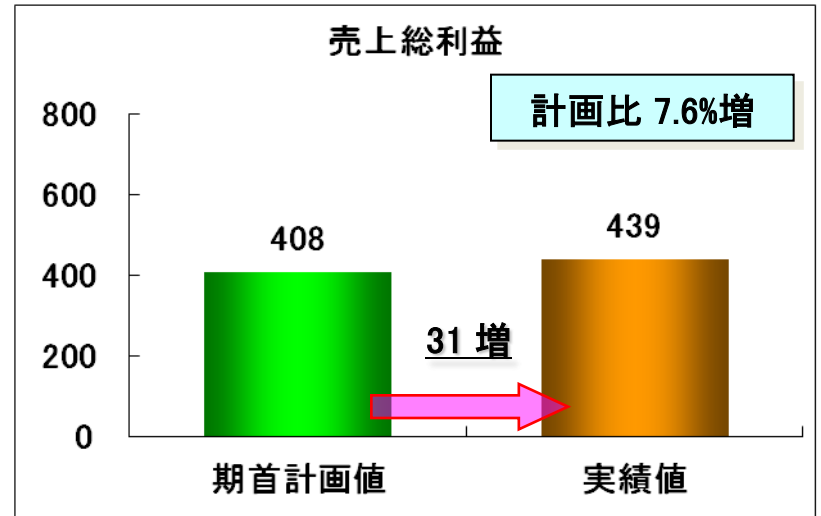
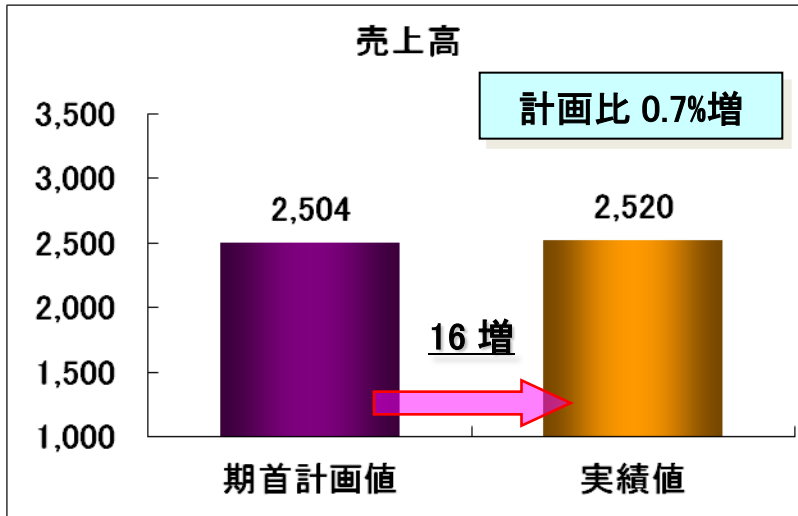




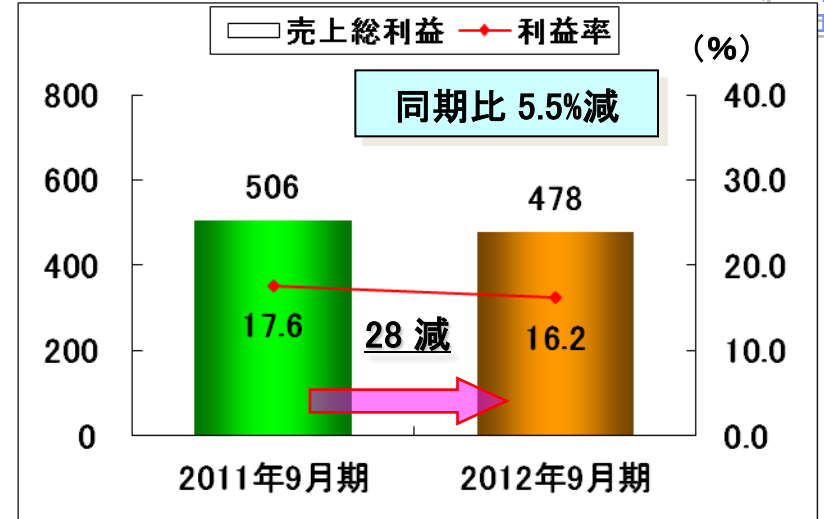
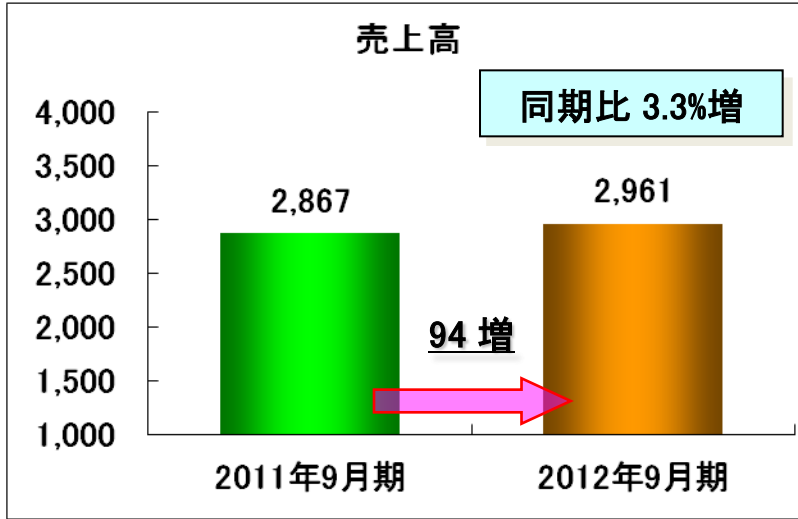
前年同期との比較(単位:百万円)



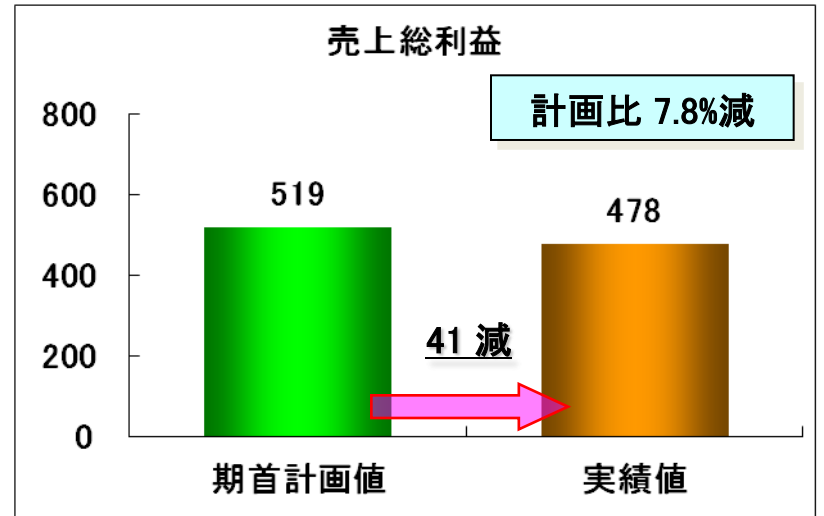
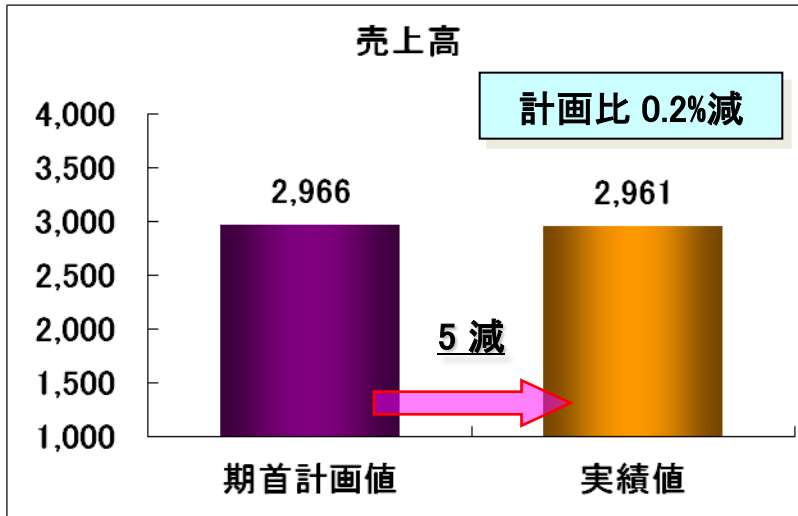
期首計画値との比較(単位:百万円)

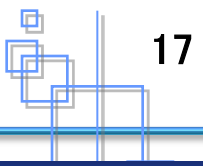


前年同期との比較(単位:百万円)

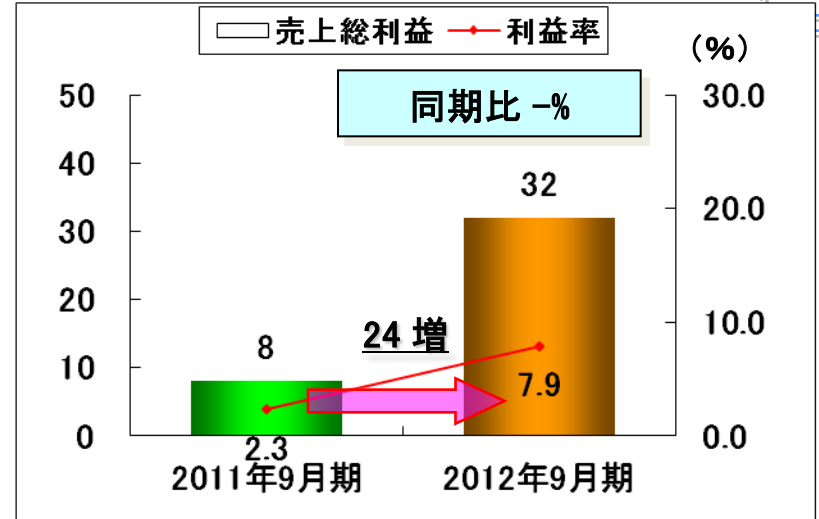
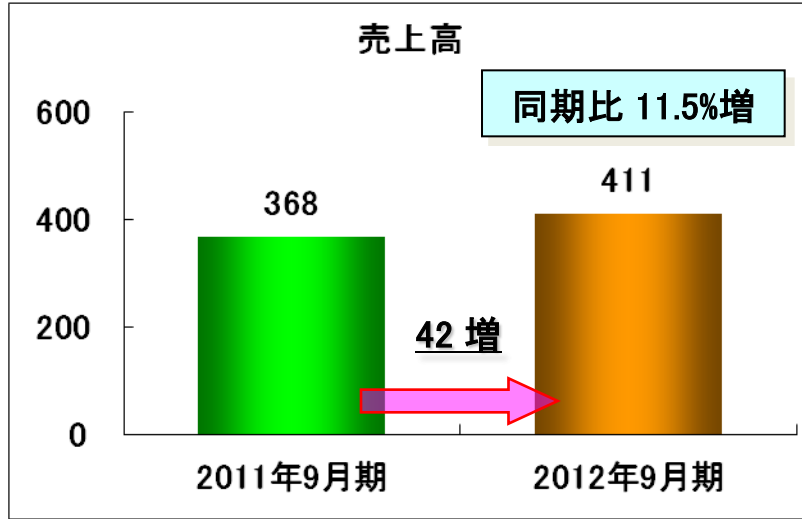


期首計画値との比較(単位:百万円)

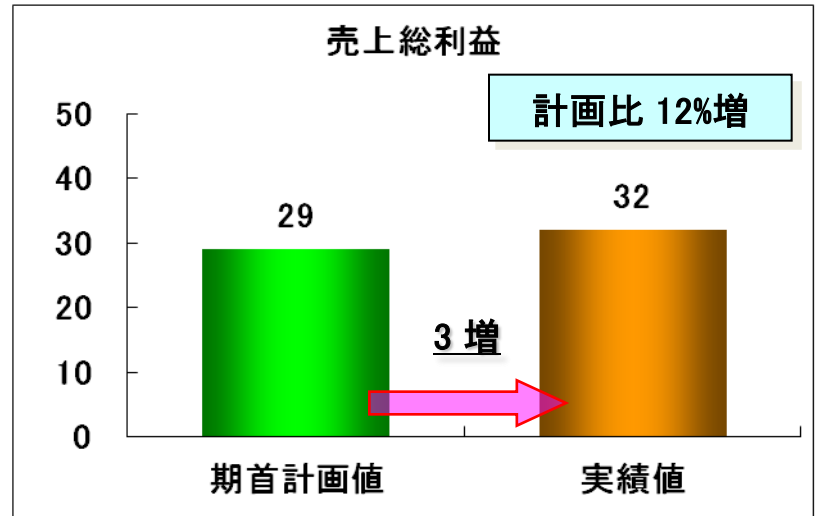
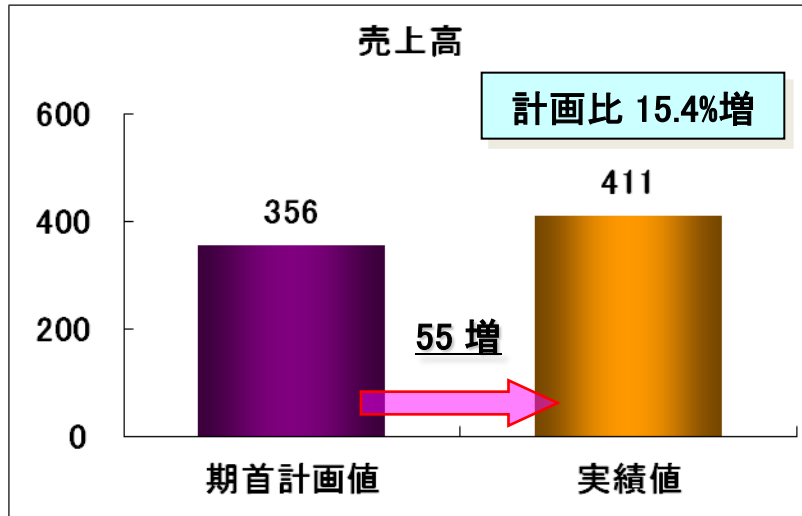




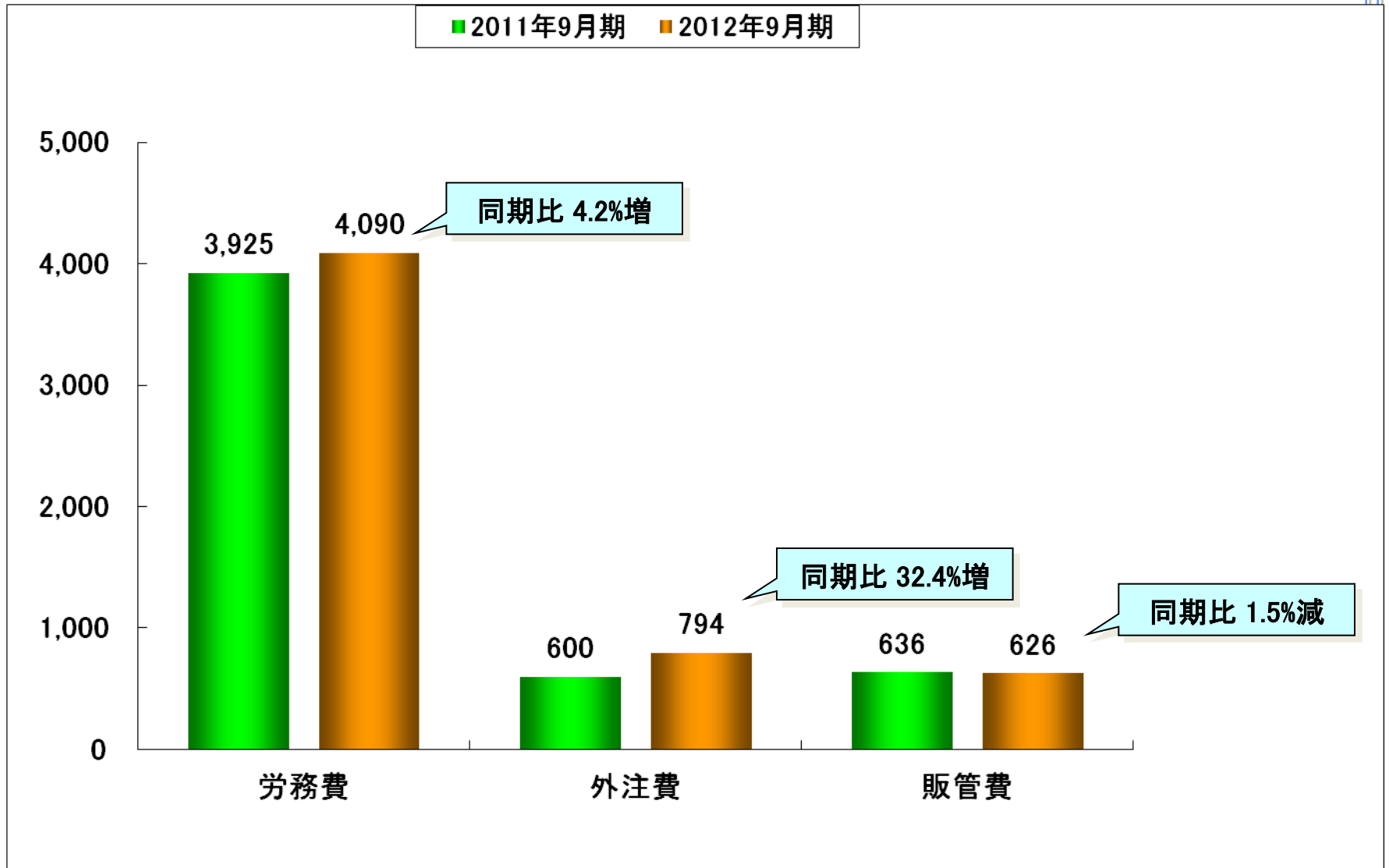
前年同期との比較(単位:百万円)



期首計画値との比較(単位:百万円)

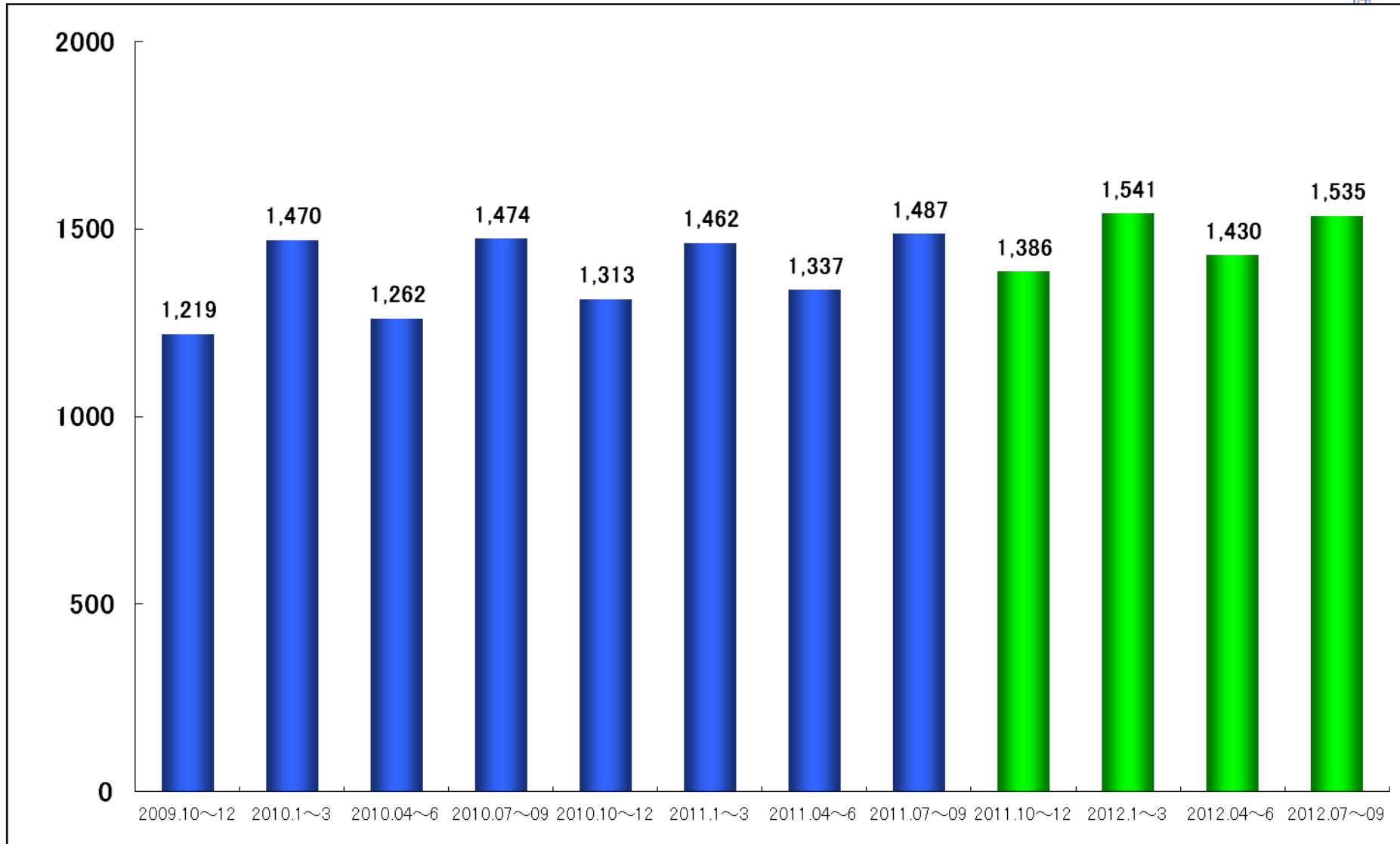


前年同期との比較(単位:百万円)



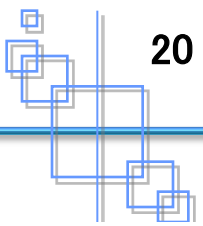


売上高四半期推移(単位:百万円)





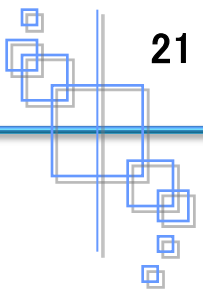
2012年9月期 決算概要



20

(単位:百万円)

	2011年第9月期	2012年第9月期	増減額	増減率
売上高	5,599	5,892	293	5.2%
売上総利益	908	950	42	4.6%
売上総利益率	16.2%	16.1%	0.1P 低下	
販売費及び一般管理費	636	626	▲ 9	▲ 1.5%
販売費及び一般管理费率	11.4%	10.6%	0.8P 低下	
営業利益	272	324	51	19.0%
営業利益率	4.9%	5.5%	0.6P 上昇	
経常利益	294	353	59	20.1%
経常利益率	5.3%	6.0%	0.7P 上昇	
当期純利益	140	166	25	18.4%
一株当たり当期純利益	36.74円	43.49円	6.75円	18.4%
一株当たり年間配当金	22.00円	24.00円(予)	2.00円	9.1%
期末人員	768名	773名	5名	0.7%



IV 3カ年の中期経営計画 及び2013年9月期業績見通し

次期(2013年9月期)は、3カ年の中期経営計画の最終期です。既存事業の成長分野へ更なる集中と強化を推し進め、クラウドソリューションをはじめとした新事業への挑戦を加速させていきます。

I. 経営方針

1. スローガン

「ITであなたの思いを形に」

2. 経営理念

- 情報処理のサービスを以って、社会に奉仕します。
- 企業の理念に賛同、投資頂いた株主に奉仕します。
- 組織と共に成長を続ける社員に奉仕します。

3. ビジョン

お客様へ社員一人ひとりが誠実な対応を以って、お客様の為になる価値のあるソリューションを提供します。
お客様から喜ばれ信頼されることを励みにし、社員と会社が共に成長できることを目指します。

4. ミッション

インフォメーションクリエイティブは、お客様に本当に喜んでいただけるコンピュータサービスをモットーにソリューションサービスの向上に努めてまいります。
社会の一員として情報化社会の進展に創造性を以って貢献します。

II. 中期経営計画(2010年10月～2013年9月)

1. 中期計画コンセプト

「仕事の取れる事業推進」

2. 中期計画のテーマ

- 新事業領域への挑戦と革新
- 既存事業成長へのパラダイムシフト
- 事業を支える経営基盤のイノベーション

長期経営目標

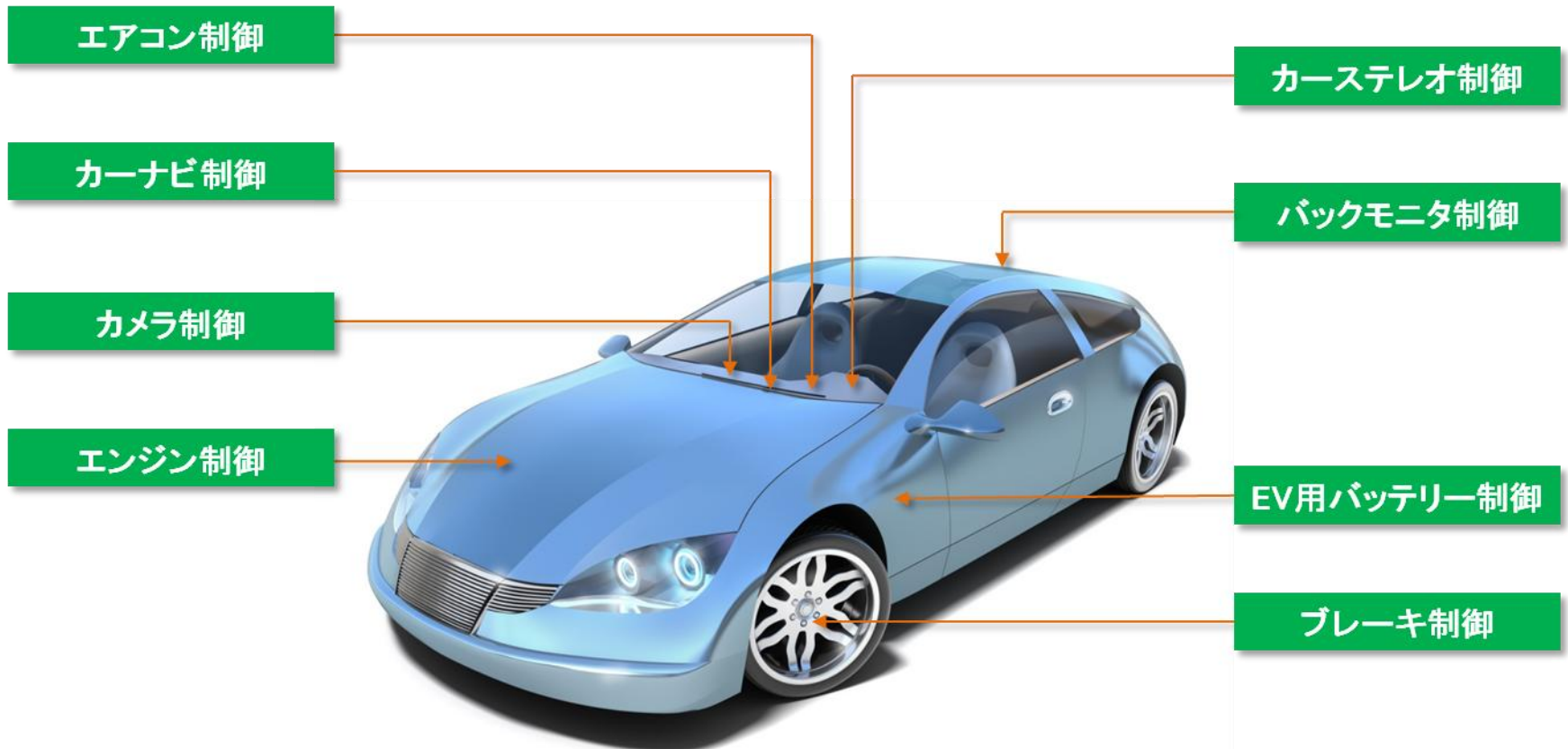
- 経常利益率8%以上を目指す —
- 創業40周年に向けて、東証2部上場を目指す —

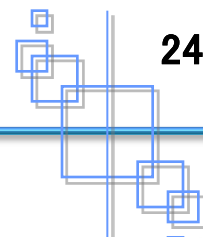
●「組込みソフトウェア」の伸長

当社は、数年前からシステム開発の技術・ノウハウを活かし「組込みソフトウェア」の分野において、特に市場の規模が大きくかつ成長性も高い車載用市場を中心に拡大を進めてきました。

自動車は電装化が急速に進み、数十、数百とも言われるICが搭載されています。

◎車載用市場における主な組込みソフトウェア





●クラウドソリューションサービス

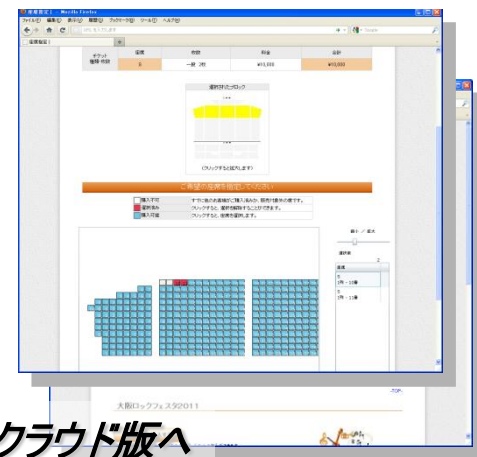
- ・データセンタサービス
- ・ユニットハウジングサービス
- ・リモート監視運用
- ・仮想化サービス
- ・Google Apps 導入支援
- ・ASPサービス「Coma」
- ・SaaS「チケット for Windows」クラウド版
- ・携帯端末向けアプリ開発
- ・プライベートクラウド構築



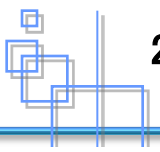
●「チケット for Windows」クラウド版を2011年6月にリリース

施設・会場・イベントのデザイン登録から予約・発券、販売・顧客管理までをトータルサポートするシステム「チケット for Windows」に新たにクラウド版をリリースいたしました。

このクラウド版を足がかりとして、実績を積み重ね、パッケージ商品におけるクラウド関連分野の拡大を図ってまいります。



Windows版からクラウド版へ



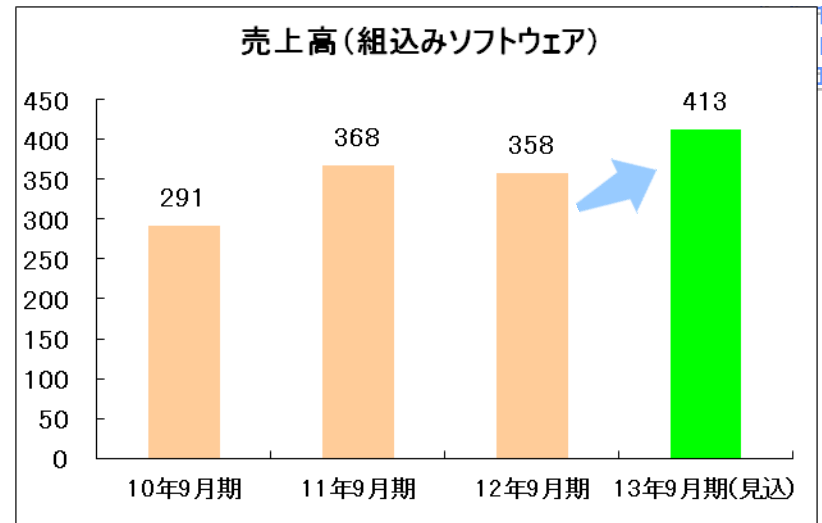
(単位:百万円)

●既存事業成長へのパラダイムシフト

既存事業の対応分野を、より成長性が見込まれる分野へ置き換えていくことで成長力を回復させていきます。

そのひとつとして、組み込みソフトウェア分野において、当期は車載用市場で大きく伸ばさせることができました。次期(2013年9月期)の売上に関しましては413百万円を見込んでおります。

また、2012年10月より、ソフトウェア開発において、オフショア開発を開始しております。



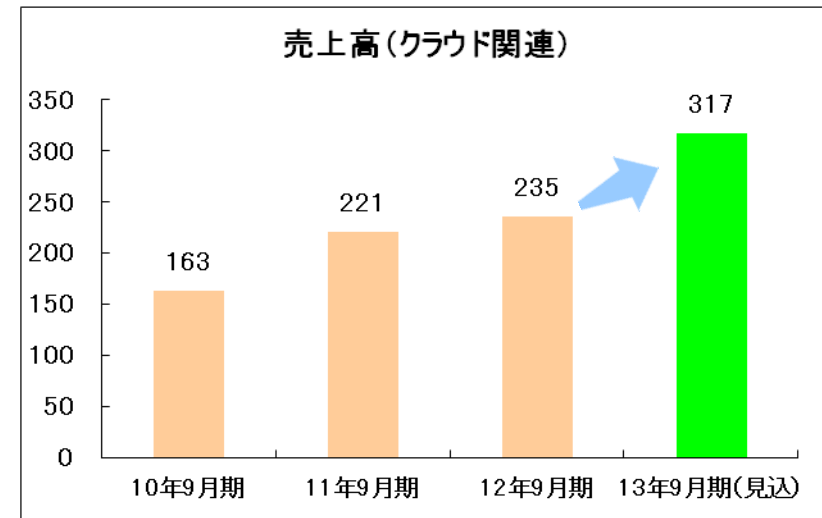
(単位:百万円)

●新規事業領域への挑戦と革新

「新事業領域への挑戦と革新」として、クラウドへの積極的な推進体制を構築するべく2010年10月に「クラウドソリューション部」を新設いたしました。

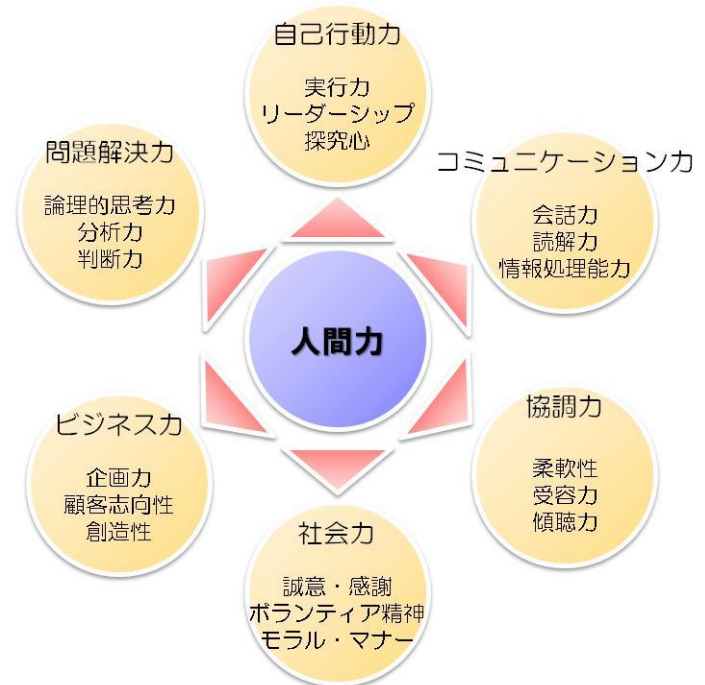
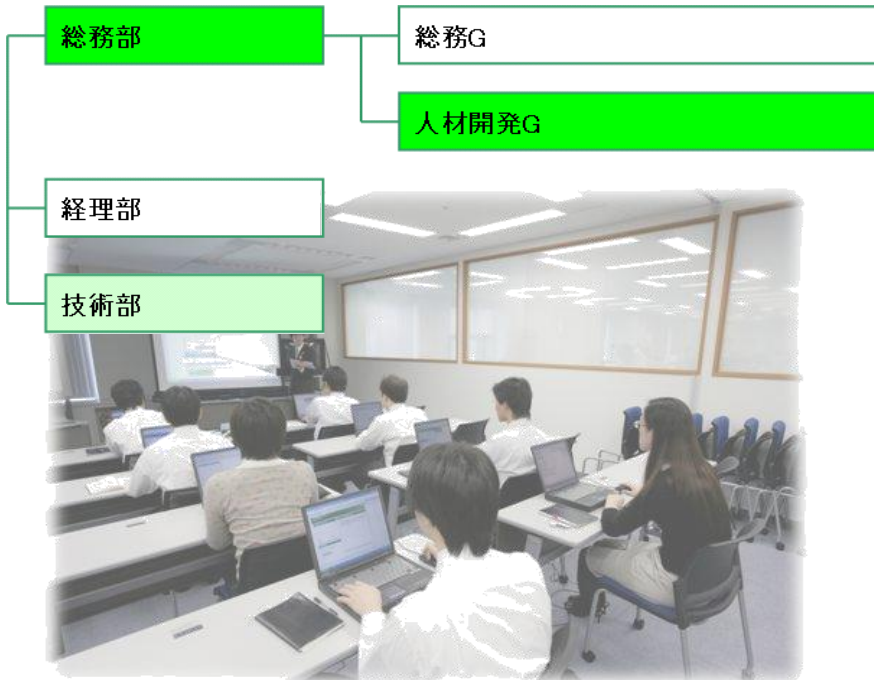
又、2011年10月に新規事業企画プロジェクトを発足し、新たな事業開発を進めております。

次期(2013年9月期)の売上に関しましては317百万円を見込んでおります。



●事業を支える経営基盤のイノベーション

◎2010年10月に人材開発Gの設置、2011年5月に全社横断的な人材開発委員会を発足するなど、体制整備を進め、社員の技術力向上と問題解決力・コミュニケーション力などの人間力向上の両面から教育を行っています。又、段階的に事業創造に挑戦し、積極的にチームを率先する「パイオニア型社員」の育成に注力しております。



◎新たに2012年10月より、社内システム刷新プロジェクトを発足し、2013年10月に新社内システムの運用をスタートする予定です。

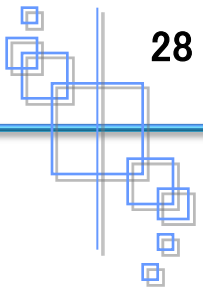
「人材こそ最も重要な経営基盤」

足元の状況

上半期分(10月 - 3月)受注高達成状況

(単位:百万円)

		ソフトウェア 開発	システム運用	自社製品	製品 その他	合計
前期 (11年10/末時点) 11/10-12/03	受注予算	1,210	1,456	36	129	2,832
	実績(受注済)	918	944	48	76	1,986
	計画達成度	75.9%	64.8%	133.6%	59.2%	70.1%
		ソフトウェア 開発	システム運用	自社製品	製品 その他	合計
当期 (12年10/末時点) 12/10-13/03	受注予算	1,328	1,520	44	157	3,051
	実績(受注済)	861	1,096	80	96	2,133
	計画達成度	64.8%	72.1%	181.8%	61.3%	69.9%



事業部門別 前期との比較

(単位:百万円)

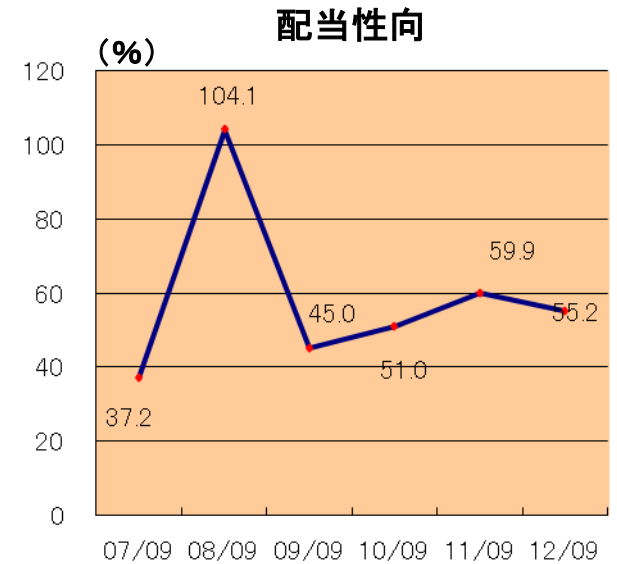
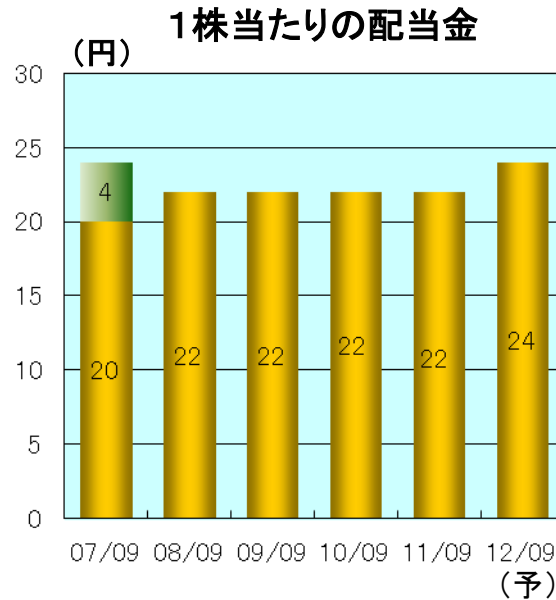
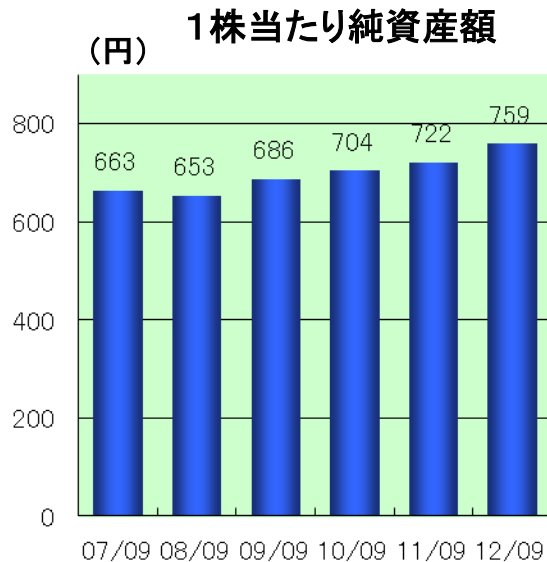
	前期(12/09)	当期(13/09)	増減額	増減率
ソフトウェア 開 発	2,520	2,737	217	8.6%
システム運用	2,961	3,084	123	4.2%
その他	411	434	23	5.6%
合 計 (売 上 高)	5,892	6,256	364	6.2%
経常利益	353	371	18	4.9%
当期純利益	166	196	30	18.2%

基本の方針



安定配当

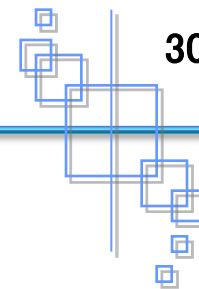
業績等を勘案して利益配分



※2007年9月期の配当金につきましては、
普通配当20円に創立30周年記念配当4
円を加えた合計24円としております。

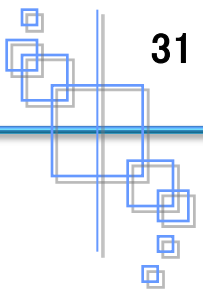
財務基盤

無借金経営を維持



<注意事項>

- 資料中の業績見通し数値及び将来についての計画や戦略は現時点において入手可能な情報に基づくものです。又、重大なリスクや不確実性を含んでいます。
- 実際の業績に与える影響の要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、市場需要、IT業界における激しい競争等がありますが、これらに限定されるものではありません。



本日はありがとうございました

 株式会社 **インフォメーションクリエイティブ**



ITであなたの**思い**を形に



<http://www.ic-net.co.jp>

お問合せ先

株式会社インフォメーションクリエイティブ

取締役 経営企画室長 平戸 敬基

TEL 03-5753-1211 FAX 03-5753-1220

E-mail investor-relation@ic-net.co.jp